

第4期米沢市工業振興計画（案）に対するパブリック・コメントへの回答について

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
1	第2章 米沢市の 工業の課題	17	<p>米沢北インターチェンジ周辺に造成する工業団地について、生産インフラとしてLNGと太陽光発電を提案します。</p> <p>今回開発予定地近くをLNGガスパイプラインが通っております。新潟から仙台まで横断し、山形市や郡山市まで枝分かれて供給されております。LNGはLPGに比べCO₂の排出が少ないことから環境に優しい持続可能なエネルギーとして注目されております。更に、高効率空調機や非常用発電にも活用され経済性にも優れたメリットがあります。</p> <p>また、太陽光については高規格道の法面と暴風柵を活用して発電パネルを敷設することでコストを抑え、経済性の高い再生電力が期待できます。</p> <p>LNGは東北電力子会社の東北天然ガス株式会社（仙台市）におたずね下さい。</p> <p>高速道は国交省、高規格道は県が管轄ですので、簡単に承諾を得ることは難しいかも知れませんが、可能性はゼロではないはずです。むしろ、新たなモデルケースとして特例を認めてもらえるかも知れません。</p> <p>いずれにしても、他の地域でも工業団地造成と企業誘致に力を入れております。米沢の強みとして交通アクセスの良さとSGDsに力を入れてはいかがでしょうか。</p>	<p>LNG（液化天然ガス）は他の化石燃料と比較してエネルギー転換時の環境負荷が小さく、県内の工業団地において導入に向けた整備が進められるなど、エネルギーの低炭素化に寄与するものと注目されています。</p> <p>一方、産業団地においてLNGを企業活動に活用するためには、大規模な設備の整備が必要となるほか、国内のLNGが輸入に強く依存している状況を踏まえ、国際情勢等が供給に影響を及ぼす可能性があるといった課題があります。</p> <p>また、太陽光発電設備を高規格道路や防風柵に敷設することについて、再生可能エネルギーの有効活用が可能である一方、交通安全上のリスクや維持管理費用、周辺環境・景観への影響のほか、雪の問題等、敷設には多くの課題があると考えられます。</p> <p>本市が新たに整備を計画する産業団地は将来にわたり本市産業が持続的に発展し続けるための基盤となるものです。今後、持続可能なエネルギーの活用について他自治体の先進事例を研究するなどし、本市の強みを生かした魅力ある産業団地を目指してまいります。</p>	無